



自治会定期総会開催

春日台自治会の平成27年度定期総会は、3月20日に開催されました。「会員総数919名、出席者数737名（出席者96名・委任状641名）」活発な質疑応答がありましたが、全議案共に満場一致で採択され終了しました。

平成28年度一般会計予算(単位:万円)



[支出の部 1、041]

「収入の部 1、041」

春日台区自治会長 水越 武
楽しみながら歩けば風の姿が
見えてくる。風薫る季節を迎え
ました。公園内も街路樹の下も
アイリスの花やその付近も皆様
の力により綺麗に保たれています。
美しい街並みを見るにつけて
『A stitch in Time, saves Nine』
(時を得た一針は、九針を救う)
ということわざを思います。住
みよい環境を整えようとする日々
の努力がよい環境をかもし出します。
『助け合い・励まし合い
健康な生活ができる環境』を作
りましょう。『物の豊かさから
心の豊かさを求めて』。
間もなく自治会創立50周年
を迎えます。先人の努力の跡を
偲び、春日台区の将来を見据え
た記念事業実施のために50周
年記念事業実行委員会を組織致
します。区民総意の記念事業が
できることを心から念願致しま
す。今年の自治会役員は、30代
～50代と役員構成が若い世代に
移っています。大変喜ばしいこ
とです。活動を通して多くのこ
とを学ぶことでしょう。
皆様の激励と温かいご支援の
程お願い致します。

主な記事

432
面面面

春日台人口ピラミッド、地域活動団体「ふれあい会」
春日台会館だより、28年度の会館運営について
町内めぐり「中津箇をたずねて」「広報かすがに關つて」

28年度を記念する特集号

地域活動団体だより

また微力ながら、住み良い春日台のため、障がい者の目線から、道路や公園、公共施設はみ出し樹木や駐車など、点検して自治会や町へ提言しています。会員同士の親睦と絆を深めるため年一回食事会を開催しています。

福祉会も昭和48年結成され会員も高齢化して老老介護の世帯となり、日常の見守り声掛けが大事になつてきました。

春日台には、身体障がい者で身障福祉会に未加入の方が多いとおもわれますが、是非加入され楽しむバス旅行や福祉行事に参加して下さい。皆さんのがんばりを待っています。

私たちの団体は、春日台に居住する身体障がい者とその介護者（家族）が、任意加入して組織され活動している団体です。目的はそれぞれの障がいを理解して会員相互の親睦と融和を図り福祉向上のため関連団体との協調と、県や町の福祉事業へ参加していきます。町身障協会と共に催で、年二回の社見学バス旅行や、町の隔年ごとに激励慰安バス旅行に参加していきます。

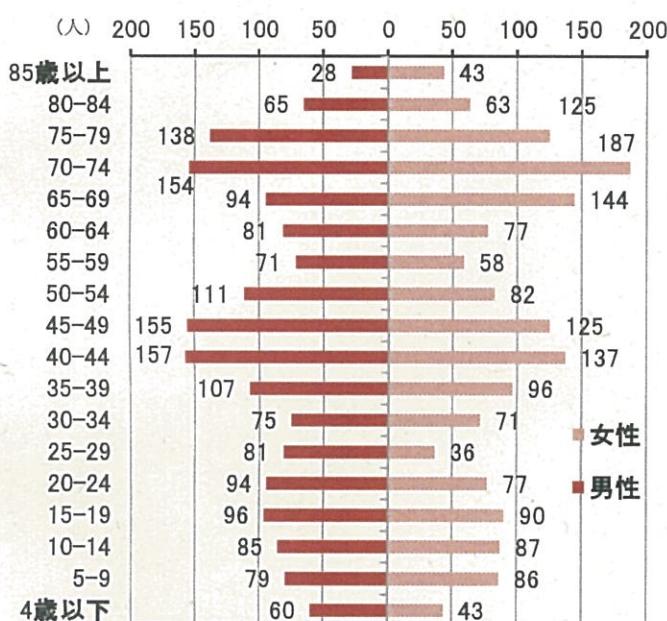
自治会創立50周年
先人の努力の跡を
古区の将来を見据え
実施のために50周
実行委員会を組織致
氏総意の記念事業が
を心から念願致しま
自治会役員は、30代
員構成が若い世代に
。大変喜ばしいこ
動を通して多くのこ
こでしょ
励と温かいご支援の
します。

楽しみながら歩けば風の姿が
見えてくる。風薫る季節を迎えた。
公園内も街路樹の下も
アイリスの花やその付近も皆様
の力により綺麗に保たれていま
す。美しい街並みを見るにつけ
『A stitch in Time, saves Nine
（時を得た一針は、九針を救う）
という』ことわざを思います。住
みよい環境を整えようと日々
の努力がよい環境をかもし出します。
『助け合い・励まし合い
健康な生活ができる環境』を作
りましょう。『物の豊かさから
心の豊かさを求めて』。

平成28年度主要行事計画

- 消防栓放水訓練（1・2丁目）
5月15日(日)
- 全町クリーンキャンペーン
5月29日(日)
- 消火栓放水訓練（3丁目AB）
6月12日(日)
- 普通救命講習会
6月19日(日)
- 夏祭り
6月23日(土)予備日24日
- 消防栓放水訓練（4・5丁目）
8月21日(日)
- 防災訓練
9月4日(日)
- 文化祭
11月5日(土)6日(日)
- 年末大掃除
12月18日(日)
- 年末特別警戒パトロール
12月28日(水)29日(木)
(平成29年)
- 消防出初式
1月7日(土)
- 町一周駅伝競走大会
1月8日(日)
- 定期総会
3月26日(日)

春日台人口ピラミッド(平成27年末)



(年齢) (合計 3,358、男性 1,731、女性 1,627)

〈春日台・元気ムラ〉～第5弾～

図は、平成27年12月の春日台の人口分布図です。

全体では、昨年より37人の減少で、前回の105人の減少よりかなり少なくなっていますが愛川町の人口減少が200人弱なので、春日台は町全体の人口に対して、大きな比率を占めているようです。

ちなみに、春日台には外国人のかたが110人お住まいです。

今回は40～44才が37人の減少で目立っています。やはり働く場の変化が大きそうな感じです。

少子高齢化のなか、きびしい環境ではあります、春日台の元気が愛川町全体の元気になるように、住み続けたい春日台づくりを、みなさん考えていきましょう。

(編集委員)

第61回町一周駅伝競走大会

地域活動団体だより

「春日台ふれあい会」活動

会長 神田 政晴

春日台ふれあい会は、平成10年出場表彰を受けた駅伝競走大会には20歳未満が

そんな中、10年出場表彰を受ける30代。それを目標に決意する10代。その姿を見守る30代以上の大人達。皆の活躍あつてAチーム18位Bチーム22位と、昨年より順位が上がり頼もしく思いました。

駅伝に関わった役員の方々とご家族の方々、沿道の皆様のご声援、ご協力ありがとうございました。
(育成会・志村)

春日台ふれあい会は、平成10年2月に自治会の支援で発足、高齢者や障がい者が、地域で楽しく生活出来ることを目的としたボランティア団体です。

保健師さんの血圧測定や別府さんの頭や手先などの「身体ほぐし体操」で始まります。

年間の行事としては、「小物づくり」「健康講話」「芸能まつり」「ゲーム大会」「バス旅

行」などがあります。

また、中津一粒の会との「交流会」や、年末には、「クリスマス会」でプレゼントなどがあり、参加する皆さんのお楽しみになっています。ボランティアさんは、利用者の意見や希望を聞いて、他地区の活動を見学したり、社会福祉協議会主催の研修会などに参加しています。更に、ご近所の人暮らしの皆さんを見守り、交流会などへの参加を呼びかけております。

今後とも、地域の皆様のご支援を宜しくお願い致します。

春日台会館だより

平成28年度

会館運営について

会館運営委員長 千葉 利治

皆様こんにちは、この度会館運営委員長を担当することとなりました千葉です。

前任の齋藤さん同様よろしくお願い致します。

会館の玄関に入ると本日のスケジュール一覧がいっぱい表示されています。当会館は、春日台以外にお住まいの方も自由に利用できます。地域の生涯学習活動の拠点、災害発生時の緊急避難場所でもあります。AEDも設置してあり、大ホールは大勢の方が避難できるように防災マップも用意しております。

又、管理人が常駐していますので、和室、ホール等ご利用下さい。半年前からの予約も可能です。電子浴コーナーは血液の浄化、血流の促進を図り身体全体が根本から改善されます。本年度は次の体制で運営してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

○会館運営委員体制	
(委員長)	齋藤 勝利
(委員長補佐)	上村 正和
(委員)	宇佐美 千春
(会計)	玉田 道久
(顧問)	小林 保男
(会計)	高谷 信男
(管理人リーダー)	末廣 忠
(会計)	池田トシ子
高谷 信男	細川 美津江
小林 保男	森 明子
合川 郁夫	山本 淑美
細川 隆雄	小林シサ子
人です。宜しくお願ひ致します。	新

生涯学習教室の開催

① アロマ One Day レッスン(第2回)

1月20日開催



② 健康講座 「骨密度測定」

2月4日開催



③ My ふるさと料理教室

2月22日開催

町の健康推進課にお願いし、骨密度の検査をしました。実年齢より若い人その逆の人それぞれでしたが、やはり運動と食生活が大切とのことです。年に一回は検査をしましょう。

今日は3丁目の細川さんにお願いし、ふるさと川崎市の喫茶店で腕を磨いたという、ナポリタンとフルーツサンド、プロのコツを教えて頂き、昔なつかしい味を楽しく試食しました。



町内めぐり

ほつき

中津箒をたずねて

昔懐かしい物が数多くあつたなあということを良く聞きますが、まさに室内で使う箒もその一つではないでしょうか。

我が愛川町には中津箒が古くから作られ、大正時代から昭和の20年代頃までの間に箒産業は非常に発展した様です。

日本の伝統である箒は、昔日本全国で使用されていた物ですが、最近では非常に希少な物になつており、作る人は勿論の事箒に使うホウキモロコシの確保が困難な状況の様です。

やがて安価な箒が海外から輸入される事になり、日本の箒産業は大きな打撃を受ける事になりました。昭和30年代になると文明の力としての電気掃除機が急速に普及し、生活様式も大きく変化し、箒の需要は一気に衰退する様になつた。

しかし最近、実用とアクセサリーとして、見直されてきました。

中津箒を展示、販売をしている博物館の方に聞いたところ、愛川町で製造、販売している所は一軒だけであり、販売目的の職人は一人だけとなつていて、4・5人の若手に指導している。



中津箒職人の山田さんに聞いてみました。

少年の頃より長年にわたり箒を作ってきたが、昔、中津地区の数多くの農家では農閑期になると箒が作られていた。

数年前に箒を作つてほしいとの依頼があり、作ることにしたとの事です。実際に50年ぶりの作業でしたが、当時数多く作つていただけあり、技術が体にしみこみ自然と手が動くんだと。

広報かすかに聞つて

一年前、私は自治会の広報部員の一人として「広報かすか」の構成・編集に携わる事となりました。当初は何もわからないどころかその存在を、きちんと理解していない程でした。編集委員の皆さんに、この広報紙の内容を説明して頂き、主に自治会活動、会館だより、そして愛川町の紹介・町内めぐりなどである事を知りました。こんな私でさえ地元の自治会活動を多少知らなかつた行事や町内めぐりなど

高橋忠義

私が小学生（昭和20年代）の頃、母が茶がら及び新聞紙を水に浸し、ちぎつて床にまき、箒で掃除していたのを思いだします、生活の恵みですね。また、長い箒を逆さまにしていた事があつたが、歓迎しない訪問客に早く帰つてほしいとのことだと聞いていました。今回分かったことは、掃きだすということからのことでした。

さて皆様方ご存知でしたか？

春日台は、65歳以上の高齢者が全体の30%を超える比率となりましたが、先般、町の高齢介護課の指導で、「いきいき百歳体操」を春日台会館で実施しました。年を取ると誰もが体力が落ちますが、「いきいき百歳体操」等で筋力と体力をつけなければ、いくつになつても元気でいきいきと生活が送れるようになるとのこと、継続的な筋力運動を実施しましょう。M・K

編集後記

で知つた愛川町の新たな発見などがありました。そして、そこには自治会の方々や町内の皆さんのが、地元に対しての熱い思いや希望が沢山詰まっている事に気付きました。活動の記録を写真に収めるのに出向くと、そこに地域の為にご尽力されている人達の姿がいつでもありました。私は「広報かすか」に関わつて沢山の人達が頑張つてくださつている事を改めて知りました。私は「広報かすか」に出ていたとしても、春日台の将来に希望が持てる感じました。それから広報室の皆さんのは、とても勉強になりました。有難うございました。

三栖秀美